

GEIBUN GALLERY

地域連携プロジェクト 駅地下芸文ギャラリー 2009年中のピックアップ企画

「ヤルキッズアート道場」

- 風邪に負けるなウイルスカプセル!! の巻 -

日 時 | 2009年1月30日(土) / 2月1日(日)
主 催 | 富山大学芸術文化学部

- 先生!へんてこな虫見つけました!!の巻 -

会 期 | 2009年7月31日(金) - 8月9日(日)
主 催 | 駅地下芸文ギャラリー
後 援 | 富山大学芸術文化学部・高岡市・高岡市教育委員会

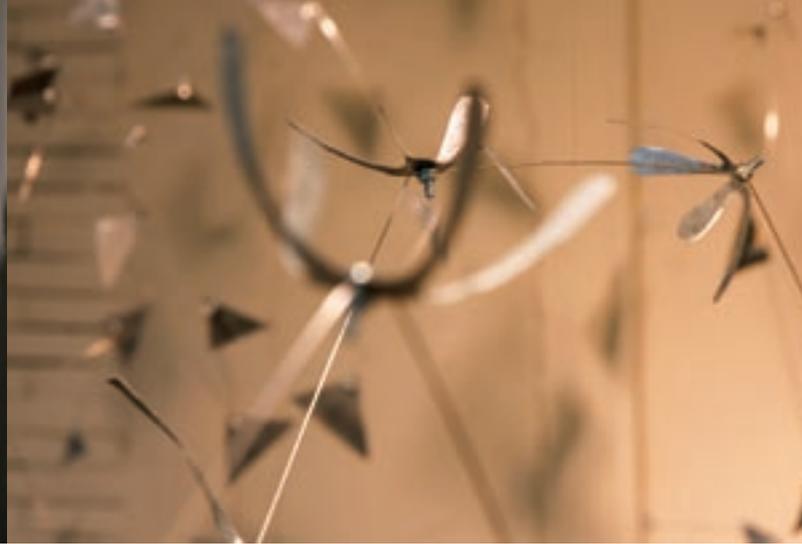
子供達にアートを親しむ機会を提供することを目的に平成20年度から行っている「ヤルキッズアート道場」。2009年は冬と夏の2回開催しました。

冬はトタン板とネジを使って小さな虫から巨大な魚まで何でもつくってしまう造形作家・北岡哲が講師を務め、「ウイルスをやっつける抗体」をテーマに思い思いの作品づくりを行いました。

いつもよりも難易度の高いトタンを使った制作とあって親子でひとつの作品を作り上げる参加者もいました。制作された作品は「ウイルスカプセル 北岡哲展」内で北岡氏の作品とともに展示されました。

夏は「へんてこな虫」をテーマとしました。身近にあるものから新たにかたちを発想するということがこのワークショップの目的でしたが、トレーの端の形状を利用してツノにしたり、クッション材の伸縮性を虫の口に利用したり、と、真剣に素材と格闘する姿は教える側の私たちに驚きを与えるものばかりでした。

今年は昨年よりも多い53名の参加者が計113作品を制作、ワークショップ終了後には標本箱に見立てたギャラリーの空間に展示しました。



冬の講師は、造形作家・北岡哲。微生物学者「ナノテツ」に扮して子供達とウイルスをやっつける抗体をつくった



夏はギャラリースタッフが講師を務め、食品トレーなど身近な素材から昆虫をつくった



制作した作品は「へんてこな虫の標本箱」として展示した



「I LOVE HIMI」

会 期 | 2009年9月12日(土) - 9月21日(月)
 ※パフォーマンスは9/12,13
 主 催 | 駅地下芸文ギャラリー
 共 催 | Fisherman

2009年9月13日で開町400年を迎え、高岡開町祭りが開催されたこの日、芸文ギャラリーは「アイラブ氷見」をテーマに企画を開催しました。自然豊かな漁師町の氷見市で暮らす氷見の人たちの、熱烈な郷土愛を、かねてから一度何かしらの形で作品にしてみたいと思っていたものの、なかなか実現の 때가訪れない中、高岡市が400年を迎えるこのタイミングこそ、色々な意味でチャンス！ということで計画を進めてきました。

全面的に協力してくれたのは、同じく氷見市在住でありながら高岡市の中心市街地でアパレルショップを展開しているFISHERmanの西さん。もともと、FISHERmanのオリジナルグッズとして販売されている『I♥HIMI』とバックプリントにデザインされたTシャツは大好評で購入者の大半が地元氷見市の方という話。

もし高岡に400年という節目がなく、ただの普通の日だったとして、この町の人たちは『アイラブ高岡』なんてモノを着るのかな。なんてよく思います。今回の企画展は、そんな高岡に、「ほんまモンの郷土愛って、こういうことちゃいますか!？」という裏コンセプトを持って、シュールであたたかく、なおかつおもしろくスタイリッシュに決行しました。

企画展と同時にゲリラで決行した街中でのアートパフォーマンスに協力してくれたのは、富山大学芸術文化学部の学生など12人。

I♥HIMIのTシャツを着せた8体のマネキン(という設定)と展示台をシートで梱包し、荷台で運んで路上で展示&ポーズさせる世界的ファッションデザイナーのチームという設定で行った今回のパフォーマンス。お祭りめがけて街ゆく人たちには強く印象に残ったようでした。



台車に出運ばれてきたパフォーマー。何事が始まるかとざわめきをかきわけていざ会場へ



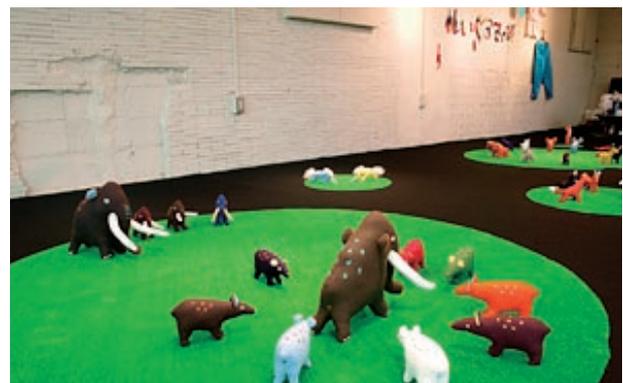
高岡駅前や末広通などの路上でパフォーマンス、すぐに大きな人だかりに包まれた



氷見市民の熱烈な郷土愛を揃いのオリジナルTシャツを着て演出



「雑貨屋 Tommy Dining」展



「ひとりぬいぐるみ部 新谷仁美」展

「雑貨屋 Tommy Dining」

会 期 | 2009年4月25日(土) - 5月5日(火)
12月12日(土) - 12月21日(月)
主 催 | トミーダイニング実行委員会

学生が企画から商品製作、販売まで行う「雑貨屋 Tommy Dining」。大変好評なことから今年も春と冬の2回開催しました。

春はゴールデンウィークに開催。参加人数は芸文学生35人が参加しました。準備を始めたのは前回の展示が終了したすぐあとの2009年1月下旬。代表の学生を中心に役割分担を決め、開催に向けて進めてきました。この回はトミーダイニング立ち上げ1周年ということで、作品展示もオープニングパーティーも華やかなものとなりました。

冬は、カフェをイメージしたレイアウトに、アクセサリー、ポストカードを中心としたオリジナルグッズを販売しました。今回が4回目とあって、展示期間中には、企画に関わる学生たちが運営そのものの新たなアイデアや提案など意見交換をする場面も見られました。今後の展開が楽しみな企画です。

「ひとりぬいぐるみ部 新谷仁美」

会 期 | 2009年9月25日(金) - 10月5日(月)
主 催 | 駅地下芸文ギャラリー

芸文ギャラリーの取り扱い作家の中で、最も人気のある作家の一人、新谷仁美による企画展。会場には約70体のぬいぐるみが展示され、予約販売を受け付けたこれらの作品は期間終了日にはほぼ完売となった上に追加注文をいただくほどの盛況ぶりでした。

今回の企画展は、「新谷仁美のひとりぬいぐるみ部」というタイトルはどうでしょうか」と作家本人からの提案があった後、ギャラリー側で新谷仁美自身を売り込むために、芸文ギャラリーでは新たな広報手段としてウェブ用CMや、普段とはパターンが違う案内状等を制作し、いつのまにか「しんたにひとみ」のキャラクターが巷で一人歩きしてしまって、ちょっとした噂になったのも印象的でした。



「時計プロジェクト」

会 期 | 3月19日(月) - 3月29日(月)
主 催 | 富山大学芸術文化学部

漆工芸と金属着色の職人がそれぞれグラフィックデザイナーと共同してインテリア時計を制作。今までであるようでなかった地元人材の共同制作を大学のプロデュースで実施しました。

(写真左4点)



中心市街地の活性化を目的に地下街にあるユニークな店舗に脚光を当てた「新春ガングング」展



高岡を中心に活動する6名によるカスタムメイドアイテムを展示した「高岡 connections」展



アート・デザイン系の情報発信企画として開催した期間限定の書店「芸文堂」。6月と11月の2回開催

2009年 企画展示一覧

- 1.5 ~ 1.13 ・新春ガングング展
- 1.16 ~ 1.26 ・37の木のおもちゃ
- 1.30 ~ 2.9 ・ヴィールスカプセル北岡哲展
- 1.31 ~ 2.1 ・"冬のこども教室 ヤルキッズアート道場〜風邪に負けるなヴィールスカプセルの巻〜"
- 2.13 ~ 3.10 ・現代GP「出会い・試し・気づき・つなく芸術文化教育ーものに語らせる連鎖型創造授業ー」
- 3.13 ~ 3.17 ・木の回想
- 3.20 ~ 3.30 ・S X M & K X R
- 4.3 ~ 4.20 ・ten-batsu-ten'09
- 4.21 ・中澤栄信インスタライブ
- 4.25 ~ 5.5 ・雑貨屋 Tommy Dining
- 5.8 ~ 5.19 ・Gift11
- 5.22 ~ 6.1 ・PHOTO'S DAY EXHIBITION TOYAMA 2009
- 6.5 ~ 6.22 ・芸文堂 -2週間だけ本屋さん。-
- 7.3 ~ 7.13 ・Eco-Friendly Action 展
- 7.18 ~ 7.28 ・ケータイ
- 7.31 ~ 8.9 ・ヤルキッズアート道場 -先生!へんてこな虫を見つけました!!の巻-
- 8.11 ~ 8.17 ・へんてこ虫の標本箱
- 8.21 ~ 8.31 ・AR 展
- 9.4 ~ 9.7 ・高岡 connections
- 9.12 ~ 9.21 ・I LOVE HIMI
- 9.21 ~ 10.5 ・ひとりぬいぐるみ部 新谷仁美
- 10.9 ~ 10.19 ・高瀬竜一・川田純子 漆芸二人展
- 10.23 ~ 11.3 ・ダムダム団の世界 展
- 11.7 ~ 11.16 ・芸文堂-2週間だけ本屋さん 洋書編-
- 11.20 ~ 11.29 ・PLY
- 12.12 ~ 12.21 ・雑貨屋 Tommy Dining

詳細は WEB に掲載

<http://geibungallery.jp>